



# 2015年10月期 決算説明資料

2015年12月17日(木)  
株式会社オハラ(証券コード:5218)

- ◆ 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料(計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ◆ ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。
- ◆ この資料の著作権は株式会社オハラに帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

---

◆ **2015年10月期 決算の概況** **P03～09**

---

◆ **2016年10月期 業績見通し** **P10～21**



# 2015年10月期 決算の概況

# 業績のポイント

## <事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、コンパクト、レンズ交換式ともに需要減少
- ◆ 露光装置市場は、半導体、液晶向けともに堅調

## <当社業績>

- ◆ 光事業は、光学機器用レンズ材の需要が弱含みで推移するも、原料調達の見直しや歩留り向上などにより損益改善
- ◆ エレクトロニクス事業は、特殊ガラスの需要が堅調に推移、生産効率の改善などにより損益改善

※ 14/10期より、子会社決算期統一（従前は全子会社で1-2ヶ月ズレ）、  
14/10期1Q業績には、子会社の2013年9-10月業績取り込み。  
（本資料では、上記期間の業績を除いた実質ベースで比較）

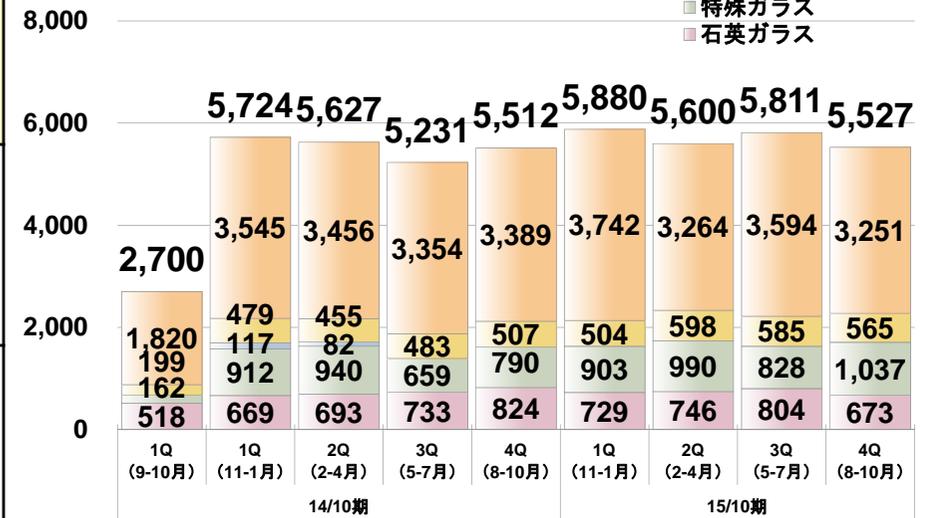
# 業績サマリー

(単位:百万円、%)

	14/10期 1Q (9-10月) ①	14/10期 通期 (11-10月) ②	15/10期 通期 (11-10月) ③	増減 (③対②)
売上高	2,700	22,096	22,820	723 3.3%
営業利益	211	△321	538	860
[営業利益率]	7.8%	△1.5%	2.4%	—
経常利益	343	151	1,316	1,165
[経常利益率]	12.7%	0.7%	5.8%	771.6%
純利益	38	△21	545	566
[純利益率]	1.4%	△0.1%	2.4%	—
為替レート 円/1USD 円/1EUR		期中平均 102.53 138.20	期中平均 120.42 136.59	

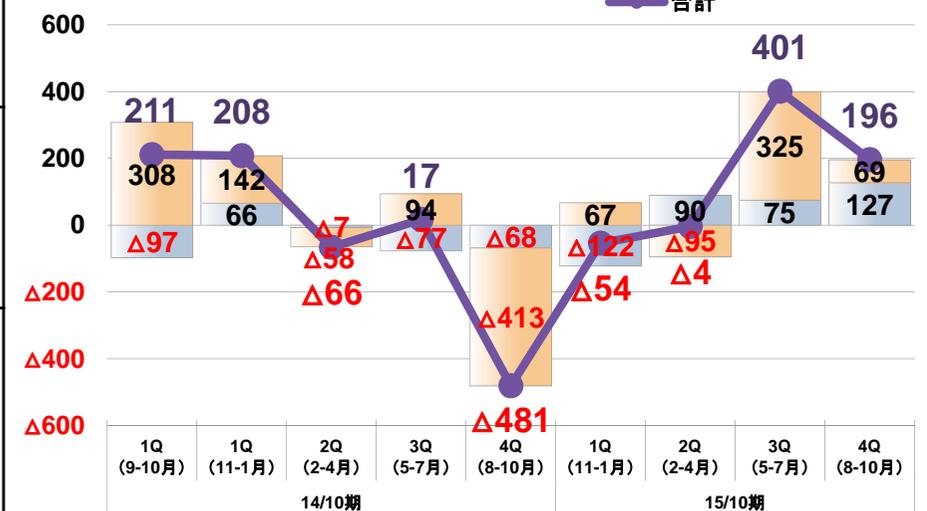
## <売上高四半期推移>

(単位:百万円)



## <営業利益四半期推移>

(単位:百万円)

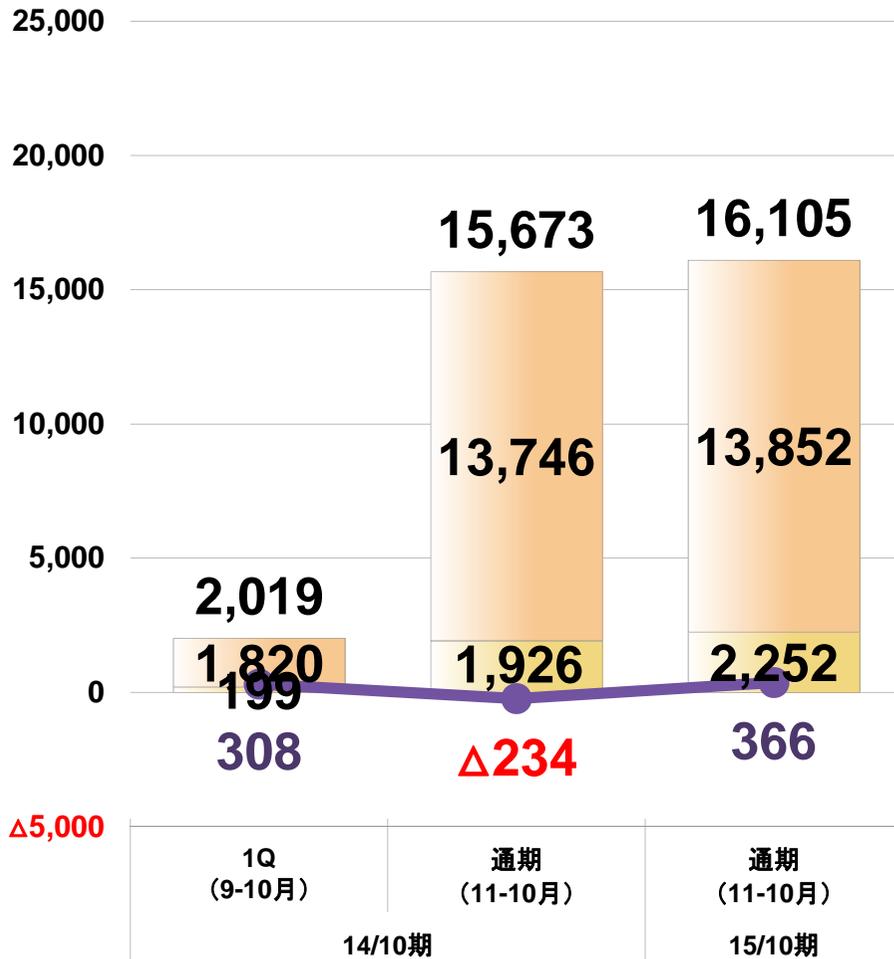


# 光事業

## <通期対比>

(単位:百万円)

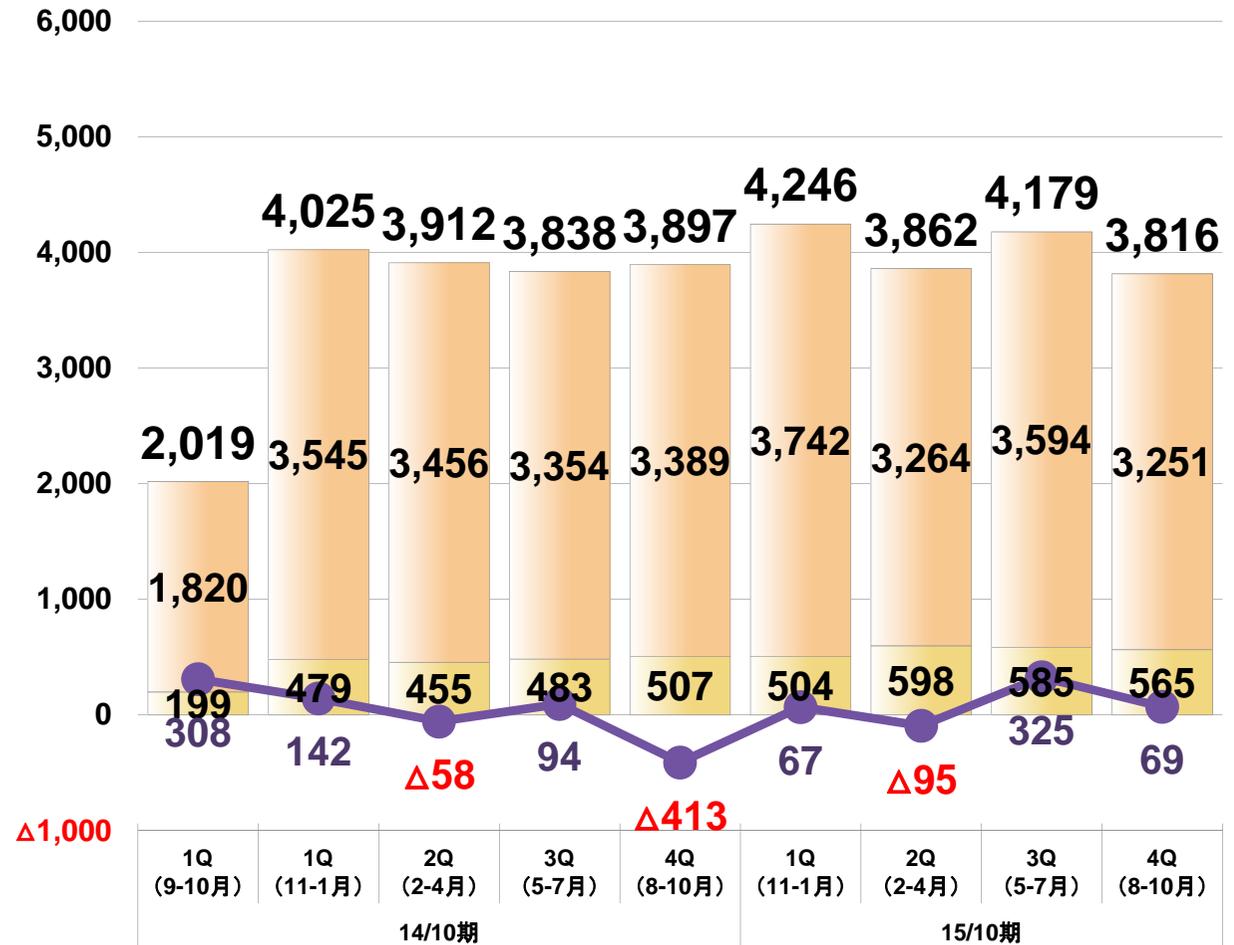
- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



## <四半期推移>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益

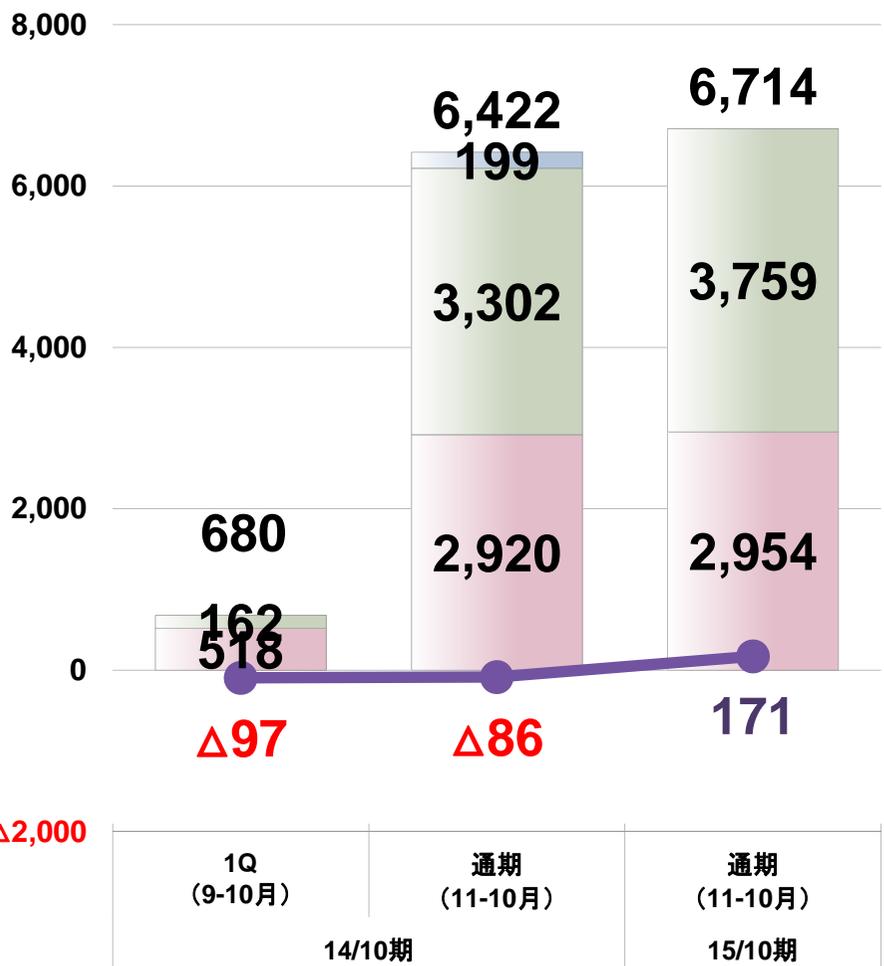


# エレクトロニクス事業

## <通期対比>

(単位:百万円)

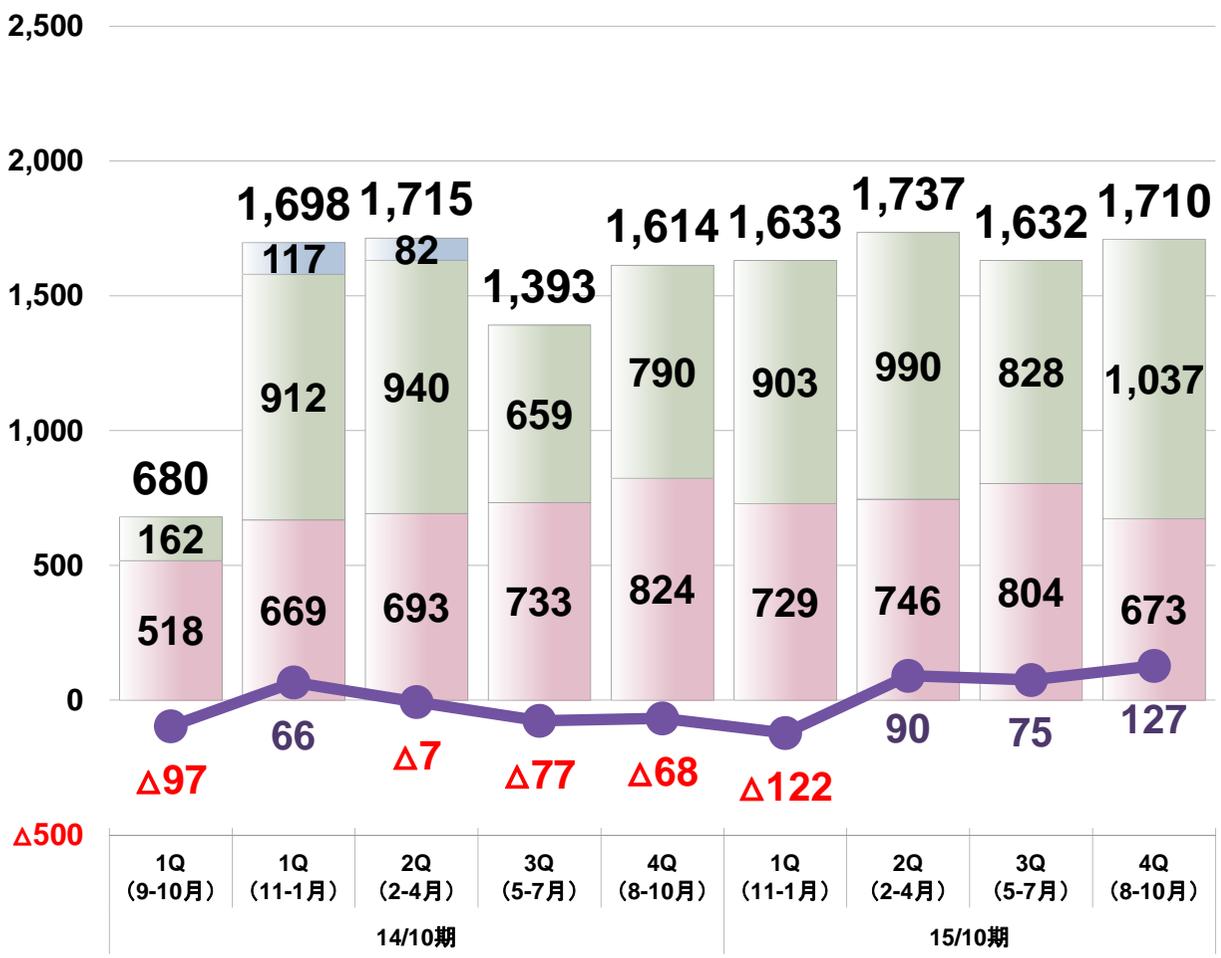
- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



## <四半期推移>

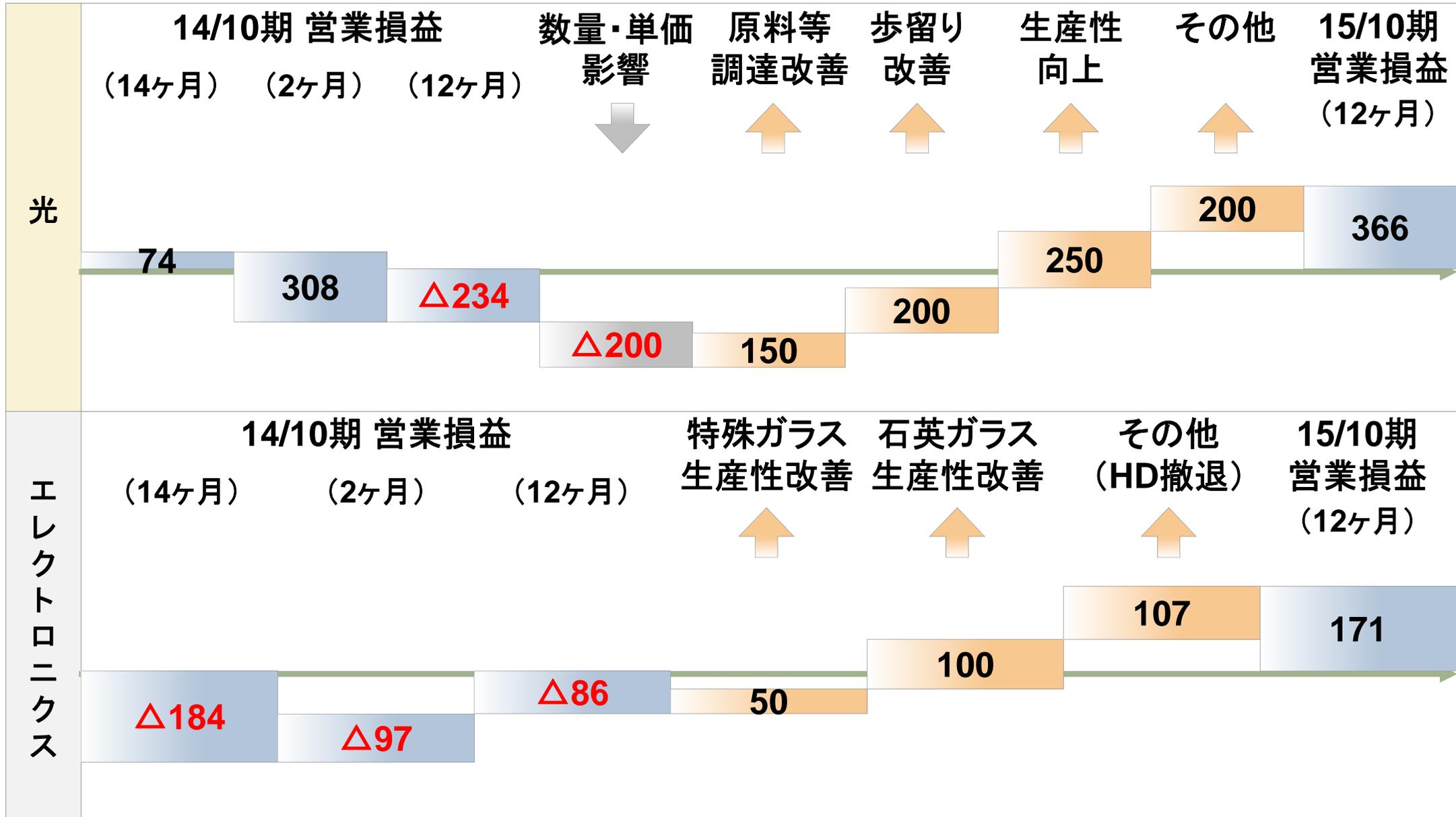
(単位:百万円)

- HD用ガラス基板材売上高
- 特殊ガラス売上高
- 石英ガラス売上高
- 営業利益



# 営業損益増減要因

(単位:百万円)



# キャッシュ・フロー



## <有利子負債>



(単位:百万円)

## 営業CF増減主要因

税金等調整前純利益	1,236
減価償却費	1,439
売上債権の増減額	△278
たな卸資産の増減額	△341

## 投資CF増減主要因

固定資産の取得	△2,099
固定資産の売却	590

## 財務CF増減主要因

借入金の返済	△845
配当金	△243



# 2016年10月期 業績見通し

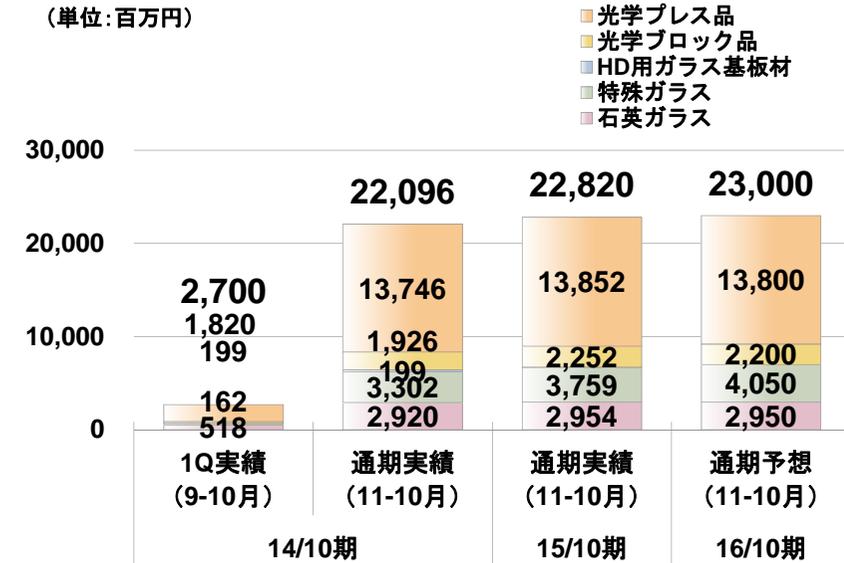
# 見通しサマリー

(単位:百万円、%)

	15/10期 通期実績	16/10期 通期予想	増減	16/10期 上期予想
売上高	22,820	23,000	179 0.8%	11,000
営業利益 [営業利益率]	538 2.4%	600 2.6%	61 11.5%	0 0.0%
経常利益 [経常利益率]	1,316 5.8%	770 3.3%	△546 △41.5%	0 0.0%
純利益 [純利益率]	545 2.4%	370 1.6%	△175 △32.2%	0 0.0%
為替レート 円/1USD 円/1EUR	期中平均 120.42 136.59	期中平均 120.00 130.00		

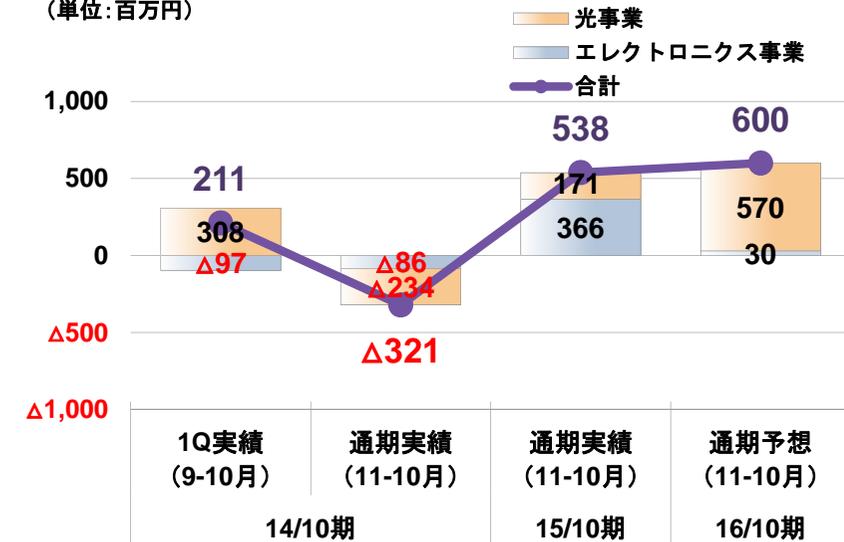
## <売上高内訳>

(単位:百万円)



## <営業利益内訳>

(単位:百万円)



# 光事業見通しのポイント

## <事業環境>

- ◆ デジタルカメラ市場は、コンパクトは市場縮小が続き、レンズ交換式も需要の回復時期が見込みづらい状況
- ◆ 監視カメラ、車載カメラは高精細化が進展する見込み

## <当社状況>

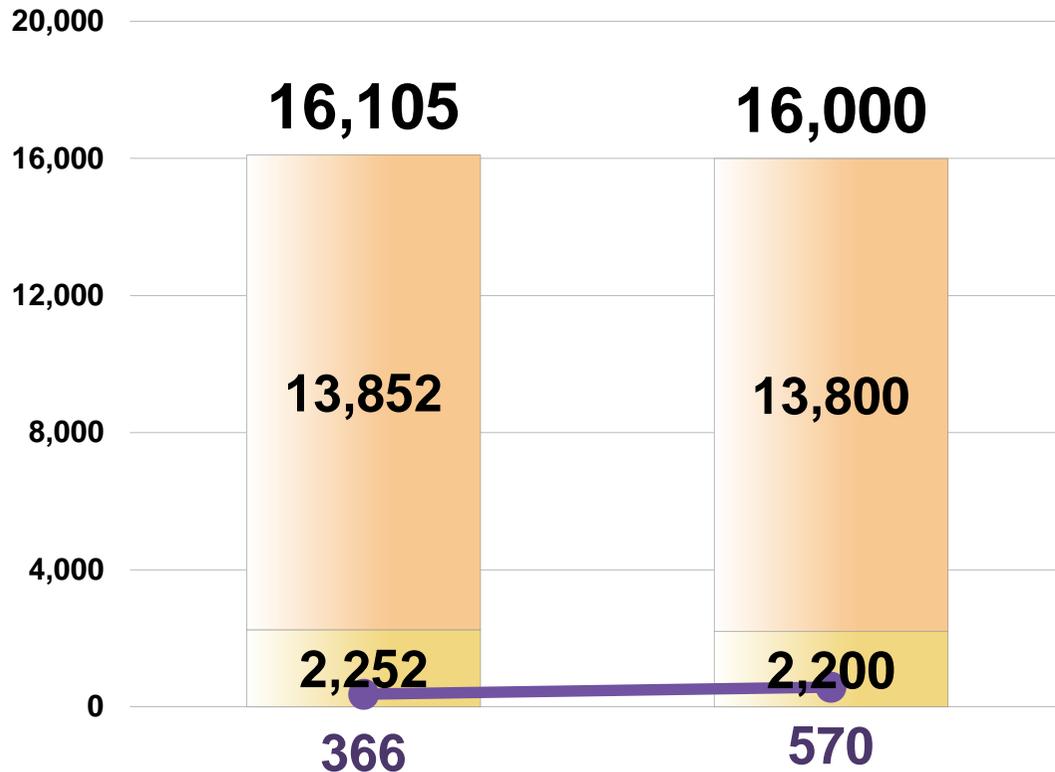
- ◆ デジタルカメラ用レンズ材は、年度後半の回復を想定、生産3拠点の活用で効率化を図る
- ◆ 中大口径ガラスモールドレンズなど高付加価値製品や高精度化ニーズへの対応を進め、利益率向上を図る

# 光事業見通し

## <通期対比>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



△4,000

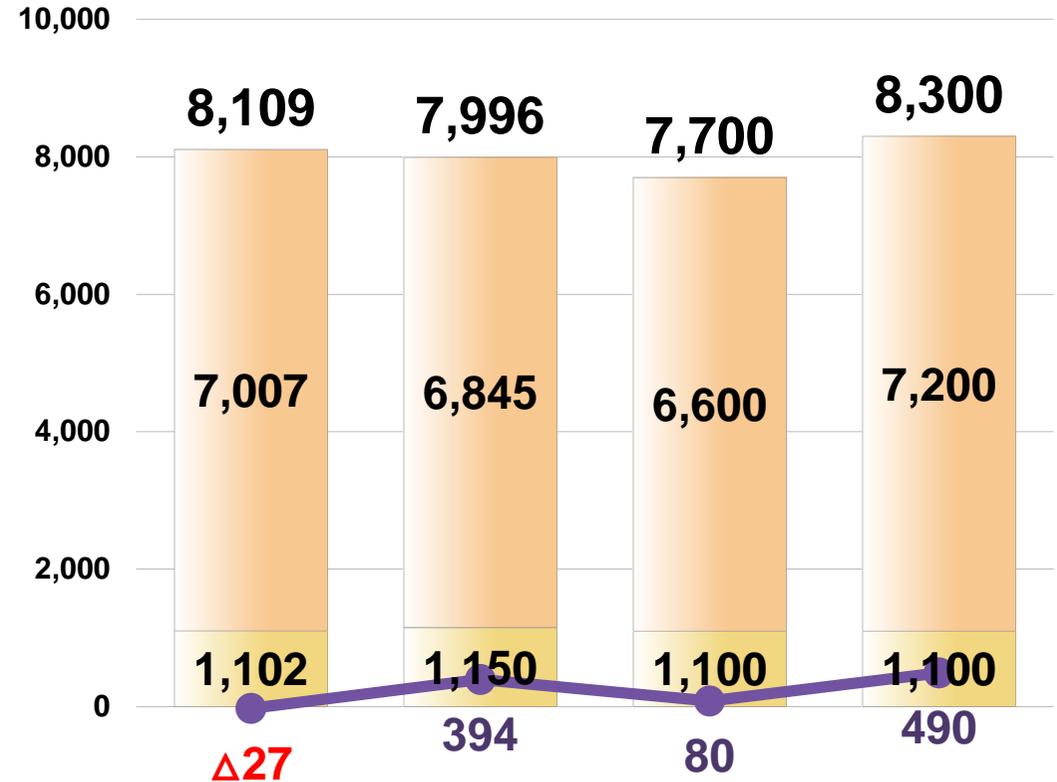
通期実績  
15/10期

通期予想  
16/10期

## <半期対比>

(単位:百万円)

- 光学プレス品売上高
- 光学ブロック品売上高
- 営業利益



△2,000

上期実績

下期実績

上期予想

下期予想

15/10期

16/10期

## <事業環境>

- ◆ 半導体、液晶露光装置の需要は堅調
- ◆ 大型天体望遠鏡など、宇宙・天文関連の需要は拡大

## <当社状況>

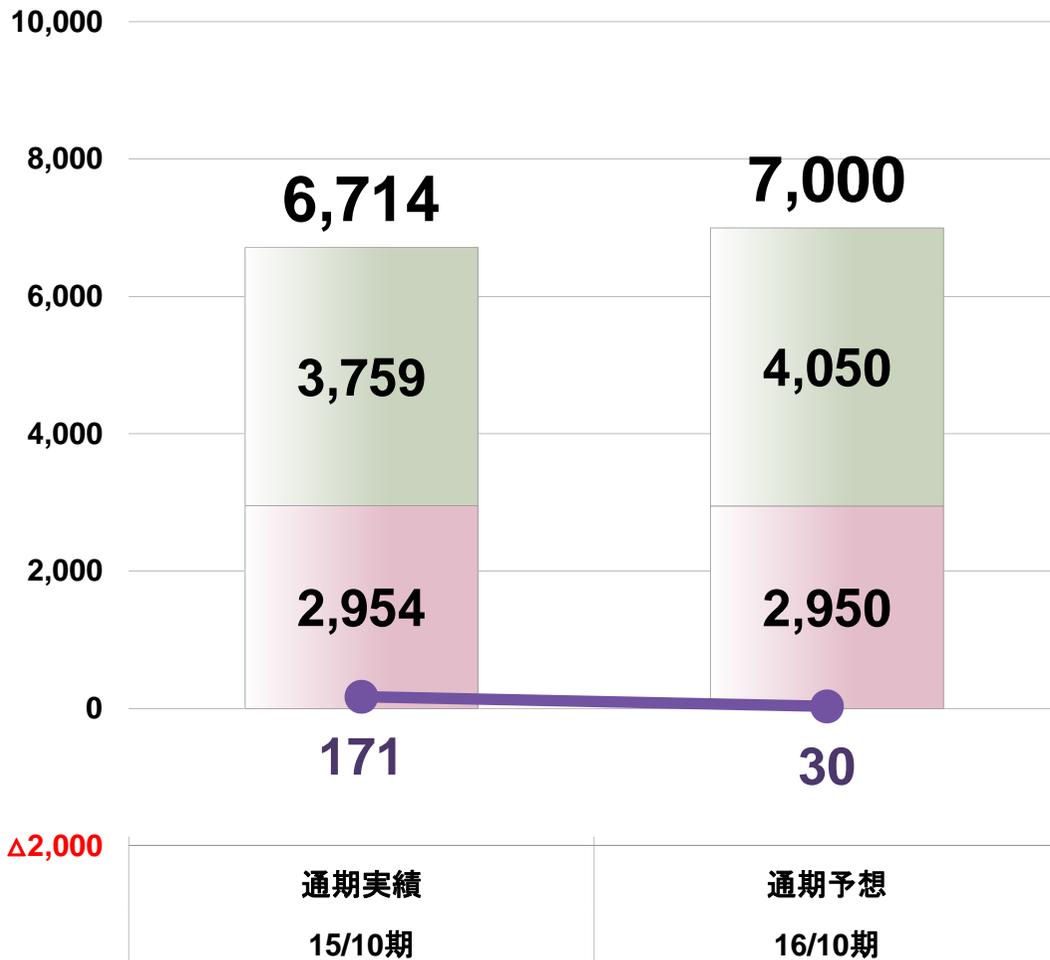
- ◆ 極低膨張ガラスセラミックスは、設備増設により需要増に対応し、積極的な営業活動を推進
- ◆ 機能性ガラスの開発及び拡販を加速、カメラレンズ用プロテクターなどへ展開

# エレクトロニクス事業見通し

## <通期対比>

(単位:百万円)

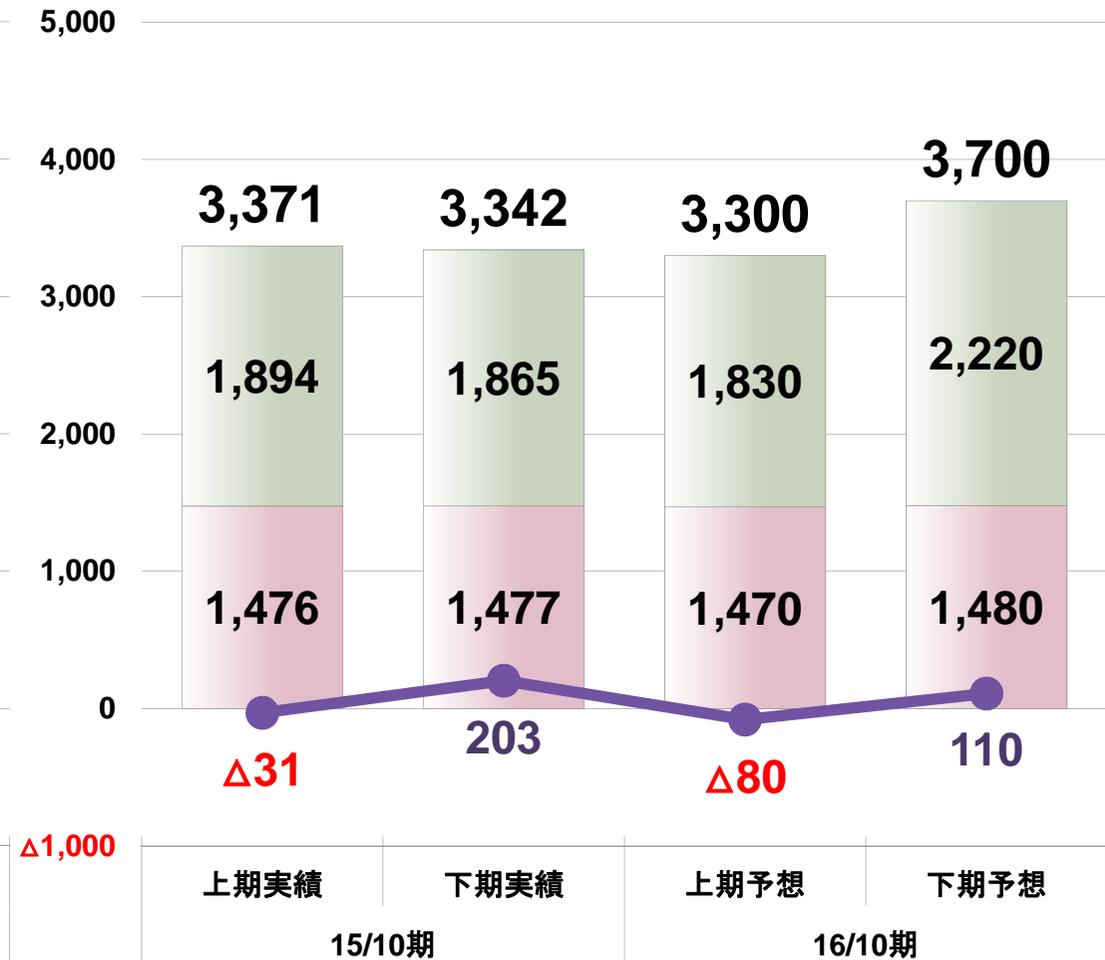
■ 特殊ガラス売上高  
■ 石英ガラス売上高  
● 営業利益



## <半期対比>

(単位:百万円)

■ 特殊ガラス売上高  
■ 石英ガラス売上高  
● 営業利益



△2,000

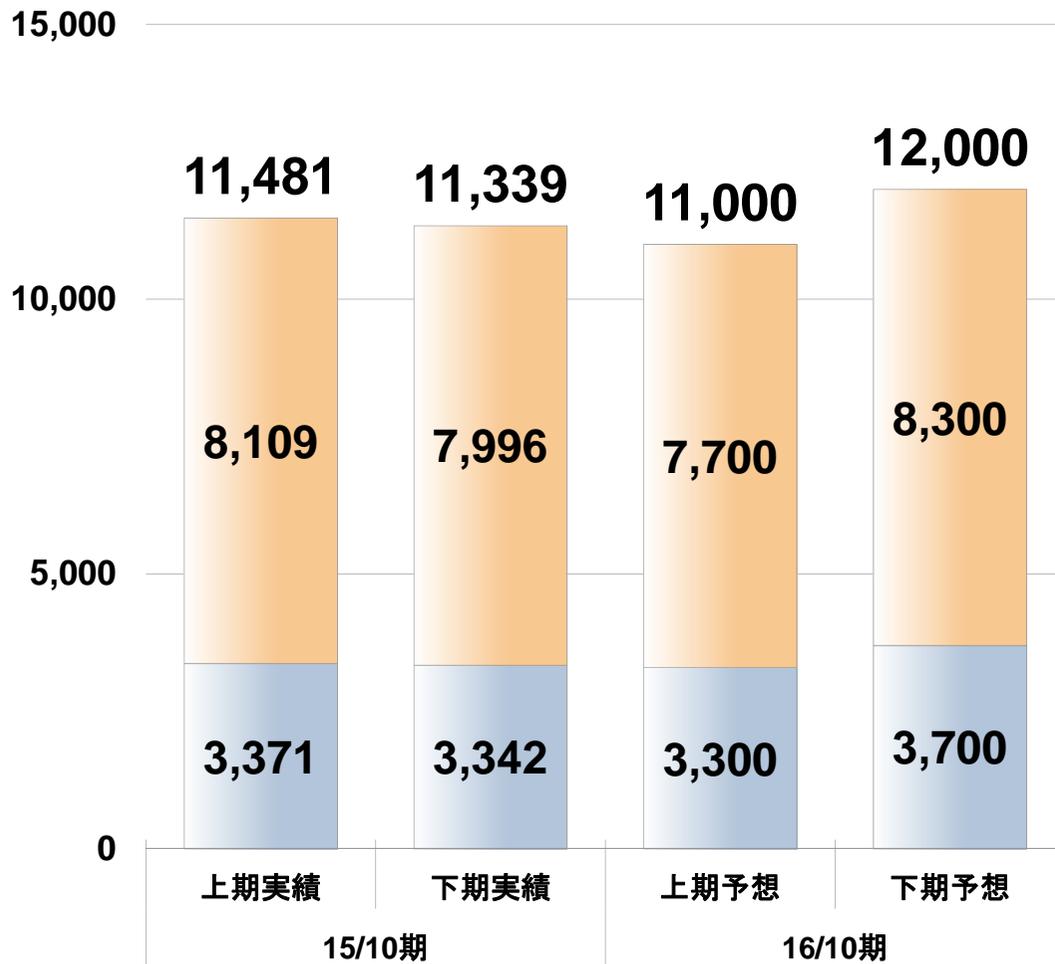
△1,000

# 見通し数値まとめ

## 売上高

(単位:百万円)

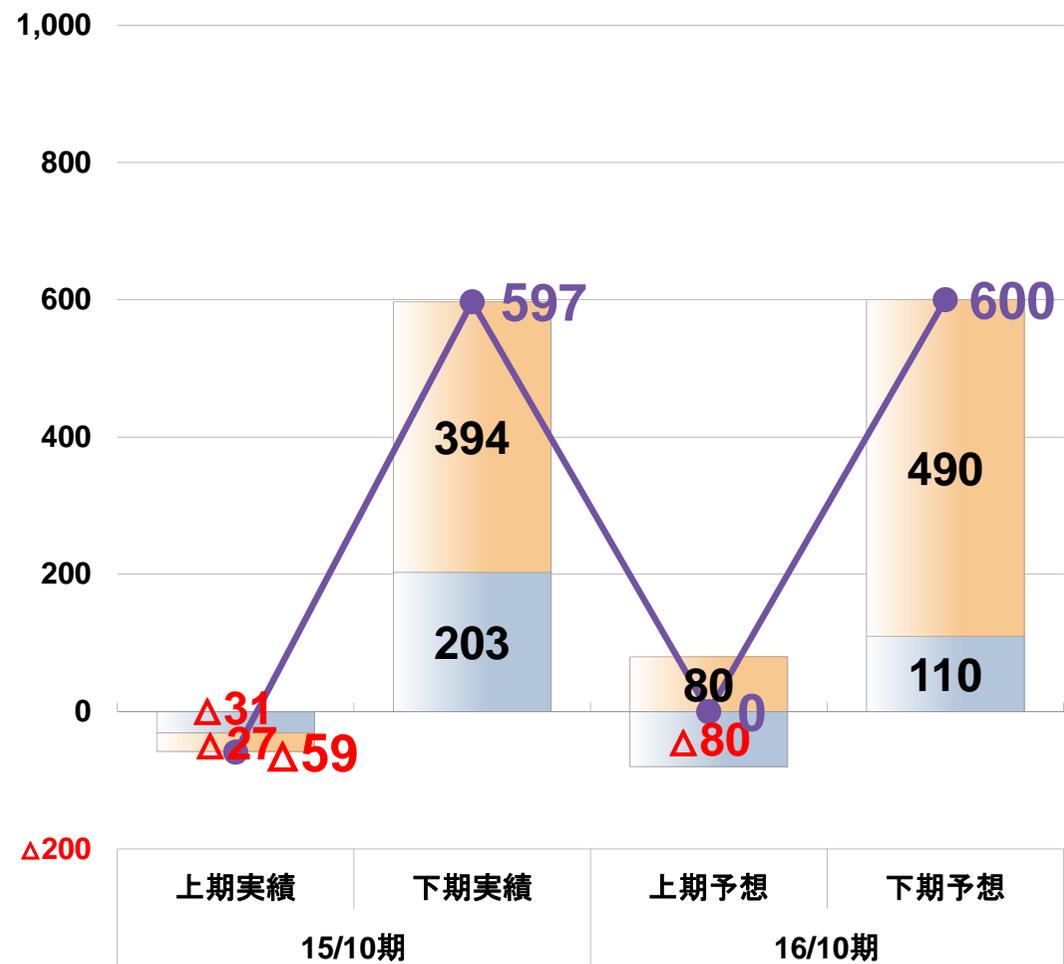
- 光事業
- エレクトロニクス事業



## 営業利益

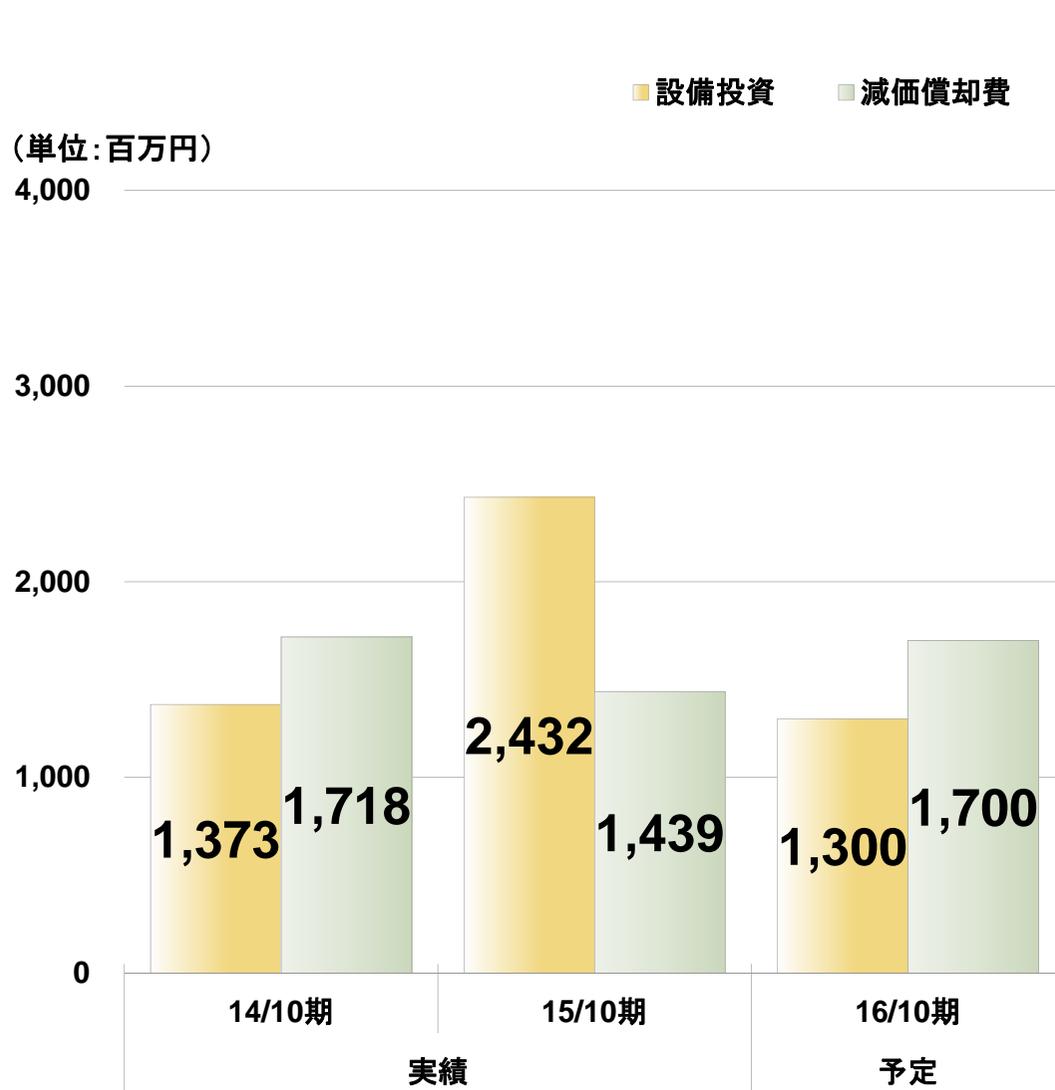
(単位:百万円)

- 光事業
- エレクトロニクス事業

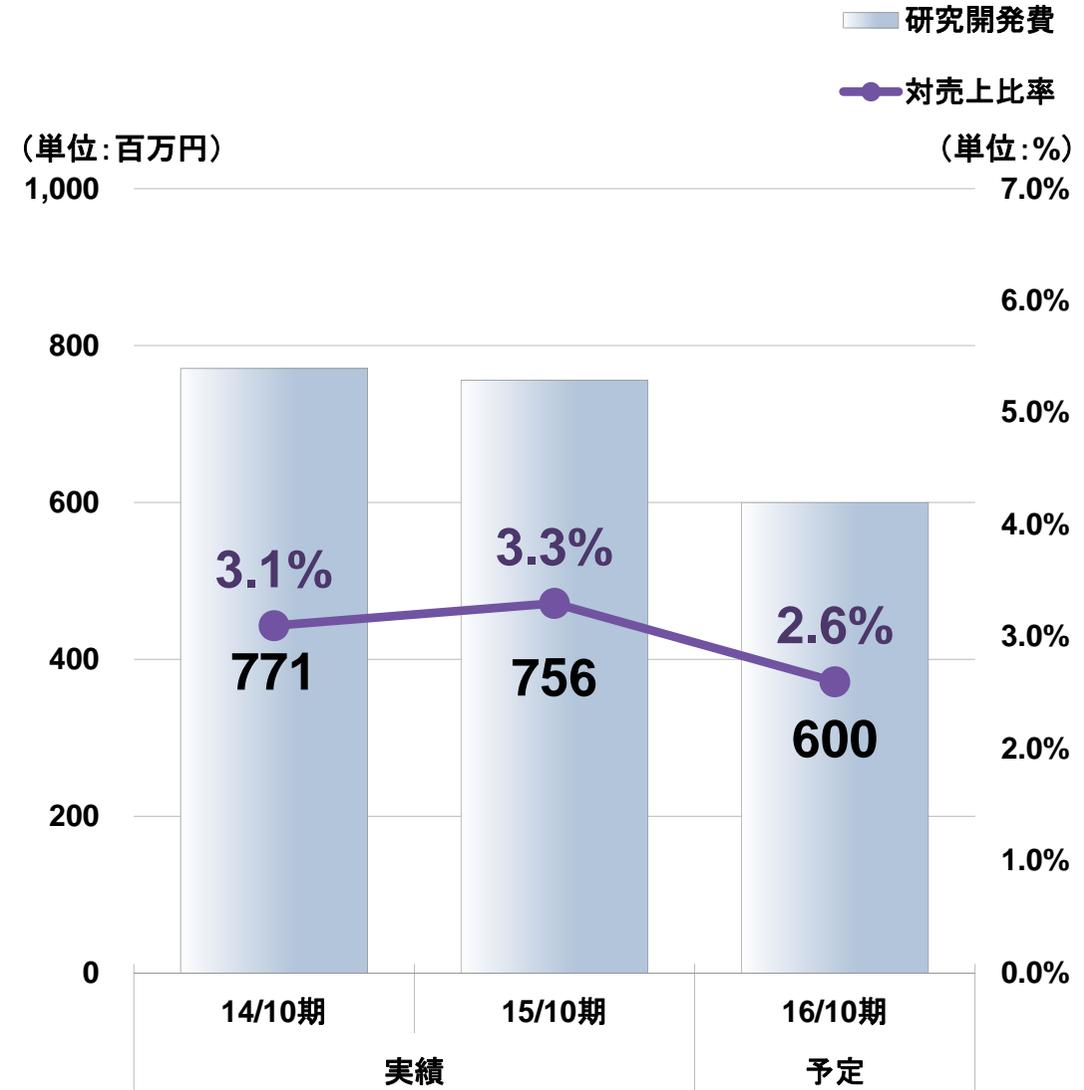


# 設備投資、減価償却費、研究開発費

## 設備投資、減価償却費

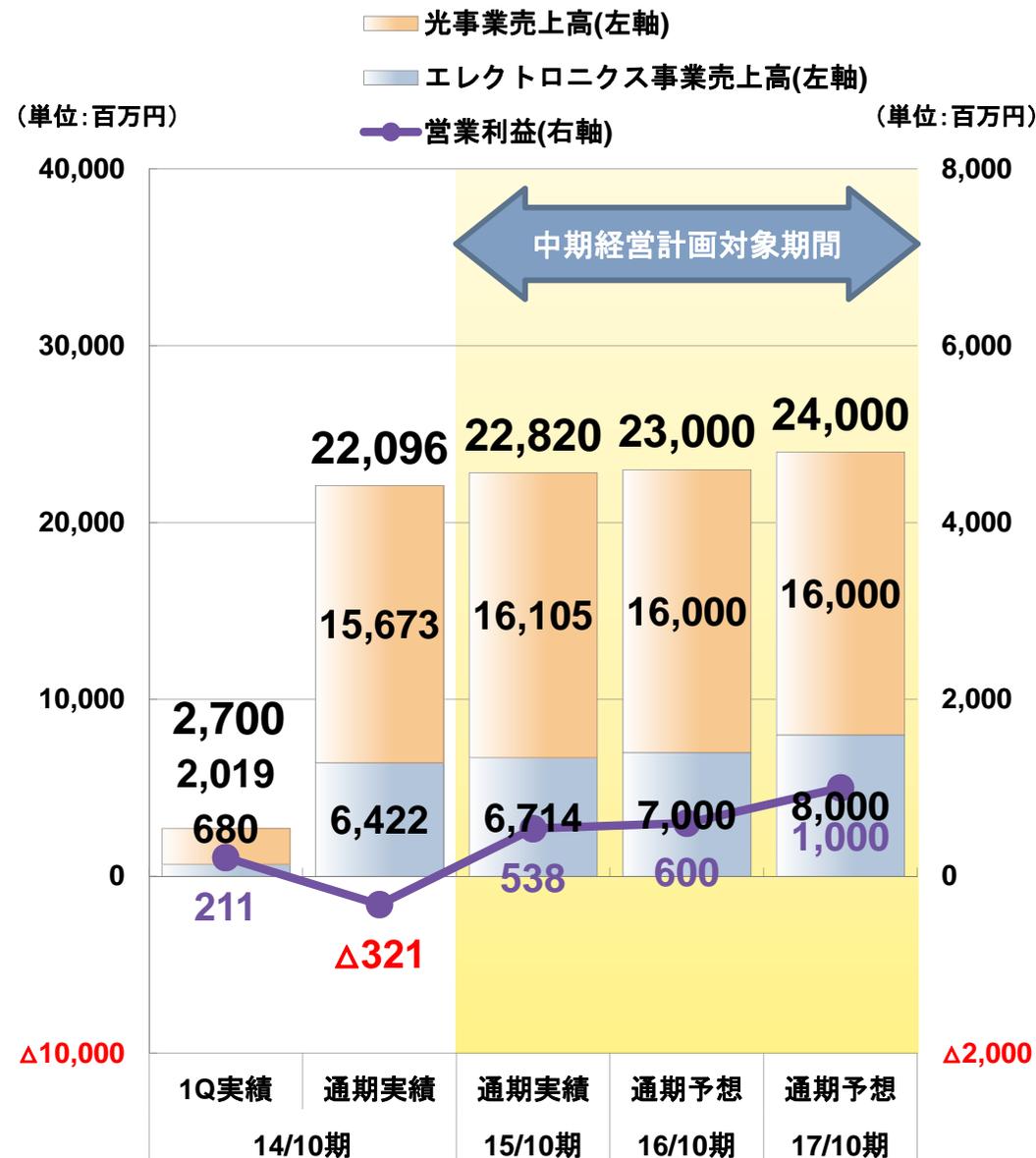


## 研究開発費



# 中期経営目標の見直し

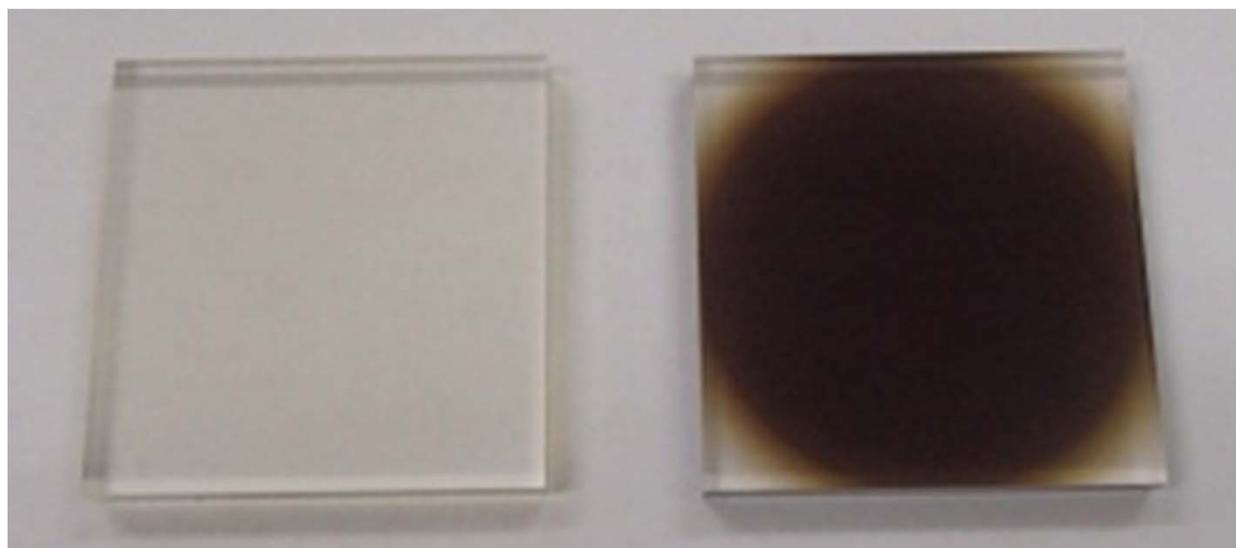
	17/10期 目標	
	新	旧
売上高	240億円以上	260億円以上
営業利益	10億円以上	16億円以上
ROA (総資産経常利益率)	2%以上	—
総資産 有利子負債比率	12%以下	15%以下
エレクトロニクス 事業売上高比率	30%以上	30%以上



# トピックス：耐放射線光学ガラス発売

- ◆ 原子力関連施設や宇宙環境など、高放射線環境下においても透過率劣化が殆ど生じない耐放射線光学ガラスを発売
- ◆ 今後5種をリリースし、様々な光学設計ニーズへ対応予定

<放射線照射後のガラスの変色、劣化の比較>



耐放射線光学ガラス

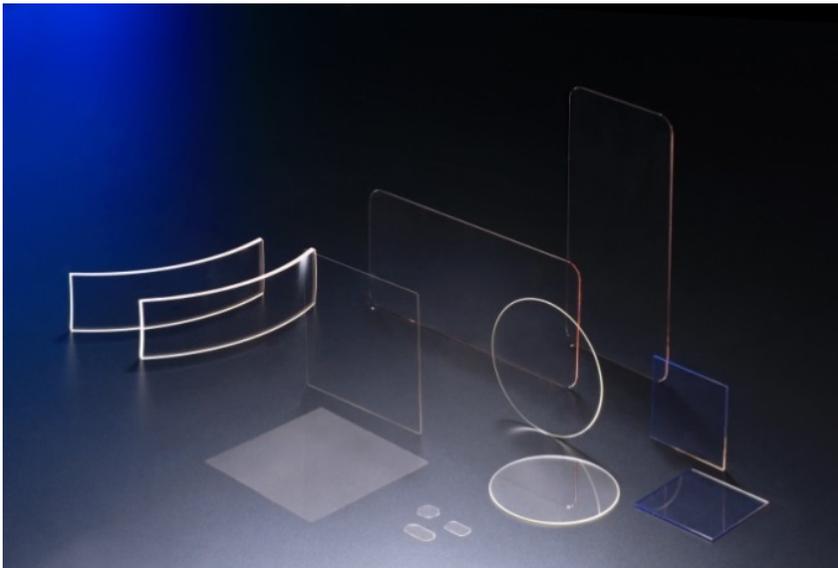
一般光学ガラス

※放射線としてX線を使用、60KV 50mA(3.0kW)にて30分照射

# トピックス：クリアガラスセラミックス発売

- ◆ ナノ結晶化技術により、ガラスセラミックスの概念を覆す高透過率、従来の化学強化ガラスやサファイアガラスを超える耐衝撃性を実現。キズがついても、破壊の原因となるクラックが発生せず、割れにくい
- ◆ (株)シグマ製カメラレンズ用プロテクターに採用、今後、モバイルや車載等多用途への拡販を展開予定

<クリアガラスセラミックス>



<(株)シグマ「WRセラミックプロテクター」>



(株)シグマプレスリリース資料より

## <経営の透明性向上>

- ◆ 独立社外取締役を新たに2名選任し、  
社内取締役と社外取締役の員数を同数とする

## <経営のスピード向上>

- ◆ 執行役員制度を導入し、業務執行と監督の分離を強化

## <業績との連動性を高めた報酬制度の導入>

- ◆ 役員退職慰労金制度の廃止
- ◆ 固定報酬 ⇒ 基本報酬、業績との連動性を高めた報酬、  
長期インセンティブ報酬(株式給付信託)

**OHARA**